

# 令和7年度総会

4月10日（木）オンライン開催

令和6年度は、平成16年任意団体として発足以来20周年にあたり、記念事業として冠付けし各事業を開催しました。砂川市認知症ケア向上推進事業においては、「認知症に関する講演会、研修会の企画実施事業」を実施しました。「認知症に関する啓発活動事業」として新たに「レビー小体型認知症本人家族交流会」「空知ひまわり（若年認知症本人家族の会）を開始しました。一般社団法人北海道地域活動振興協会の助成をいただき、東京、高知を若年認知症本人の現地視察とインタビュー等を行い、ほっかいどう希望大使（認知症本人大使）講演などをまとめた冊子を関係各位並びに配布し、ホームページでも公開しました。他、NPO法人若年認知症の人と家族の会（北海道ひまわり）の連絡会に参加。「チームオレンジすながわ」設立に協力。一般社団法人日本認知症本人ワーキンググループに加盟し、国内外の認知症本人の活動に関する情報収集・意見交流に参加しました。

令和7年度も、引き続き上記の事業継続と共に、任期途中ではありますが、新たに松本健太郎さん（ほっかいどう希望大使：認知症本人大使：赤平市在住）を任命しました。

当事者と協働で共に啓発活動をして参ります。基本法成立し、認知症施策推進基本計画が施行され、古い認知症観から新しい認知症観へと国民の理解と意識を変えていくことがトレンドとなります。そうした流れの中で、昨年8月、北海道庁は、ほっかいどう希望大使（認知症本人大使）を任命し、当院に通院している赤平市在住の松本健太郎さんが任命されました。私たち中空知に身近に希望大使がおり、当法人としても当事者と協働で共に啓発活動をしていきたいと考えました。ご本人からおれんじ・ドア設置の希望もあります。そうした活動が実現できるように当法人としても支援していきます。

これまで設立から現在まで後方支援を行ってきた、認知症支援ボランティア「ぽっけ」は、コーディネーターが3月に退任し、4月より事務局大辻に交代しました。コーディネートは勤務後となり、即時対応は難しく、また新規申し込みを当面受付ずに、スタートしております。また赤字運営もあったことから、根本から見直し、一般社団法人の解消、有償活動費の値上げの他、関係機関や会員同士のネットワークをデジタル化し経費削減を継続してまいります。

以上、報告し令和7年度も引き続き各事業にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。